

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人西大和学園

(2) 大学名

大和大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒564-0082
大阪府吹田市片山町2-5-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(タノセ タイキ) 田野瀬 太樹 (平成20年4月)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(タノセ リョウタロウ) 田野瀬 良太郎 (平成26年4月)		
学部長	(シマダ タケオ) 嶋田 健男 (平成26年4月)	(ソガ マサトシ) 曾我 雅俊 (平成30年4月)	
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。）
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和2年度までの5年間）ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等（保健医療学部看護学科）

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
保健医療学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	4年	80人	年次人	320人	平成29年度 100名(28)

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況（保健医療学部看護学科）

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	80 (-) [-]	-	80 (-) [-]	-	80 (-) [-]	-	100 (-) [-]	-	100 (-) [-]	-	100 (-) [-]	-	100 (-) [-]	-	1.14倍	1.29倍	
志願者数	868 (-) [-]	-	635 (-) [-]	-	1481 (-) [-]	-	1546 (-) [-]	-	1593 (-) [-]	-	1678 (-) [-]	-	1855 (-) [-]	-			
受験者数	784 (-) [-]	-	591 (-) [-]	-	1375 (-) [-]	-	1533 (-) [-]	-	1559 (-) [-]	-	1608 (-) [-]	-	1809 (-) [-]	-			
合格者数	240 (-) [-]	-	220 (-) [-]	-	186 (-) [-]	-	203 (-) [-]	-	210 (-) [-]	-	317 (-) [-]	-	299 (-) [-]	-			
B 入学者数	149 (-) [-]	-	119 (-) [-]	-	91 (-) [-]	-	118 (-) [-]	-	108 (-) [-]	-	113 (-) [-]	-	120 (-) [-]	-			
入学定員超過率 B/A	1.86		1.48		1.13		1.18		1.08		1.13		1.20				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和2年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況（保健医療学部看護学科）

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	149 [-] (-)	- [-] (-)	119 [-] (-)	- [-] (-)	91 [-] (-)	- [-] (-)	118 [-] (-)	- [-] (-)	108 [-] (-)	- [-] (-)	113 [-] (-)	- [-] (-)	120 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		149 [-] (-)	- [-] (-)	118 [-] (-)	- [-] (-)	89 [-] (-)	- [-] (-)	116 [-] (-)	- [-] (-)	106 [-] (-)	- [-] (-)	113 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		/		148 [-] (-)	- [-] (-)	116 [-] (-)	- [-] (-)	88 [-] (-)	- [-] (-)	114 [-] (-)	- [-] (-)	105 [-] (-)
4年次	/						/		/		148 [-] (-)	- [-] (-)	114 [-] (-)	- [-] (-)	88 [-] (-)
計			149 [-] (-)		268 [-] (-)						357 [-] (-)		471 [-] (-)		426 [-] (-)

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況 (保健医療学部看護学科)

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成26年度	149 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人	
平成27年度	286 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人	
			平成27年度	0 人	0 人	
平成28年度	357 人	6 人	平成26年度	1 人	0 人	進路変更のため(1人)
			平成27年度	3 人	0 人	進路変更のため(2人)、除籍(1人)
			平成28年度	2 人	0 人	進路変更のため(2人)
平成29年度	471 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人	
			平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	426 人	5 人	平成27年度	2 人	0 人	一身上の都合(2人)
			平成28年度	1 人	0 人	持病の悪化(1人)
			平成29年度	2 人	0 人	進路変更のため(2人)
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	421 人	4 人	平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	2 人	0 人	進路変更のため(2人)
			平成30年度	2 人	0 人	進路変更のため(2人)
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	451 人	2 人	平成29年度	1 人	0 人	進路変更のため(1人)
			平成30年度	1 人	0 人	進路変更のため(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合計		17 人		17 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成26年度】

$$\frac{\text{平成26年度の退学者数(a)}}{\text{平成26年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{149} = \boxed{0} \%$$

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{286} = \boxed{0} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{357} = \boxed{1.68} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{471} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{426} = \boxed{1.17} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{421} = \boxed{0.95} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{451} = \boxed{0.44} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<保健医療学部 看護学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基礎科目	言葉と文学	2前	2								1
	くらしと芸術	2前	2								2
	心理学概論	1後	2								2
	哲学概論	1前	2								1
	生活文化概論	1後	2								1
	日本国憲法	1前	2								1
	くらしと福祉	1後	2								1
	くらしと人権	1後	2								1
	経済学概論	1前	2								1
	国際関係論	1前	2								1
	人間と生命	2前	2								2
	情報処理Ⅰ	1前	1								1
	情報処理Ⅱ	1後	1								1
	基礎統計学	1後	2								1
	英語Ⅰ	1前	1								1
	英語Ⅱ	1後	1								1
	中国語Ⅰ	1前	1								1
	中国語Ⅱ	1後	1								2
	フランス語Ⅰ	1前	1								1
	フランス語Ⅱ	1後	1								1
	ドイツ語Ⅰ	1前	1								1
	ドイツ語Ⅱ	1後	1								1
	スポーツⅠ	1前	1								1
	スポーツⅡ	1後	1								1
	健康科学概論	1前	2				1				1
	基礎セミナーⅠ	1通	2					2	2		
	基礎セミナーⅡ	2通	2				1	1	2		
	卒業研究Ⅰ	3通	2				1	3			
	卒業研究Ⅱ	4通	2				3	1			
小計(29科目)	-	-	16	30	0	4	3	6	4	0	29
専門教育科目	チーム医療概論Ⅰ	1前	1			1	1				3
	チーム医療概論Ⅱ	1後	1			1	1				3
	人体の構造と機能Ⅰ(骨格・食性・筋系等)	1前	2								1
	人体の構造と機能Ⅱ(呼吸・消化・排泄系等)	1前	2								1
	生化学	1前	2								1
	病態学総論	1後	1			1					
	病態治療Ⅰ(呼吸と循環)	1後	2			1					
	病態治療Ⅱ(代謝と栄養)	1後	2			1					
	病態治療Ⅲ(神経と運動)	1後	2			1					
	病態治療Ⅳ(血液)	2前	1			1					
	病態治療Ⅴ(排泄・感覚)	2前	1			1					
	微生物と感染	1後	2								1
	治療学総論	1前	1			1					
	薬理学	2前	2								1
	リハビリテーション概論	1前	1								1
	看護と法律	3前	1								1
	環境と健康	1前	1			1					
	保健医療福祉行政論	3前	2			1					
	臨床心理学	2前	2								1
	精神保健	2前	2					1			
	カウンセリング	2後	1								1
栄養学	2前	1								1	
食品学	2前	1								1	
基礎看護学総論Ⅰ	1前	2					2				
基礎看護学総論Ⅱ	1後	2					2				

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎科目	心理学概論	1後	2									1
	日本国憲法	1前	2									1
	情報処理	1後	2									1
	基礎統計学	1後	2									1
	英語Ⅰ	1前	2									1
	英語Ⅱ	1後	2									1
	スポーツ	1前	2									1
	基礎セミナーⅠ	1通	2				1		3	2		
	基礎セミナーⅡ	2通	2				1		4			
	卒業研究Ⅰ	3通	2					2	3	1		
	卒業研究Ⅱ	4通	2				3	1	2	1		
小計(11科目)	-	-	22	0	0	5	3	12	4	0	7	
専門教育科目	チーム医療概論Ⅰ	1前	1			1						4
	チーム医療概論Ⅱ	1後	1			1						4
	人体の構造と機能Ⅰ(骨格・食性・筋系等)	1前	2			2	1	3	3			
	人体の構造と機能Ⅱ(呼吸・消化・排泄系等)	1前	2			2	1	3	3			
	生化学	1前	2			1						
	病態学総論	1後	1									1
	病態治療Ⅰ(呼吸と循環)	1後	2									1
	病態治療Ⅱ(代謝と栄養)	1後	2									1
	病態治療Ⅲ(神経と運動)	1後	2									1
	病態治療Ⅳ(血液)	2前	1									1
	病態治療Ⅴ(排泄・感覚)	2前	1									1
	微生物と感染	1後	2			1						
	治療学総論	1前	1									1
	薬理学	2前	2			1						
看護と法律	3前	1					1					
環境と健康	1前	1						1				
保健医療福祉行政論	3前	2			1			1				
精神保健	2前	2					1					
食品・栄養学	2前	1					1					
基礎看護学総論Ⅰ	1前	2					1		1	1		
基礎看護学総論Ⅱ	1後	2					1		1	1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	基礎看護技術論 I	1前	2				2	2				
	基礎看護技術論 II	1後	2				2	2				
	基礎看護学演習 I	1前	1			1	2	4				
	基礎看護学演習 II	1後	1			1	2	4				
	基礎看護学演習 III	2前	1			1	2	4				
	基礎看護学実習 I	1後	1			1	2	4				
	基礎看護学実習 II	2前	2			1	2	4				
	成人看護学総論	1後	2				1					
	成人臨床看護学 I	2前	2				1					
	成人臨床看護学 II	2後	2				1					
	成人看護学演習	3前	1				2	3				
	成人看護学実習 I (必修・回復期)	3後	3				1	2				
	成人看護学実習 II (後学期・特定期)	4前	3				1	2				
	老年看護学総論	2前	2			1						
	老年臨床看護学	2後	2						1			
	老年看護学演習	3前	1			1			1			
	老年看護学実習 I (生活援助)	3後	2			1			1			
	老年看護学実習 II (健康障害)	3後	2			1			1			
	小児看護学総論	2前	2				1					
	小児臨床看護学	2後	2						1			
	小児看護学演習	3前	1				1	1				
	小児看護学実習	4前	2				1	1				
	母性看護学総論	2前	2						1			
	母性臨床看護学	2後	2					1				
	母性看護学演習	3前	1				1	1	1			
	母性看護学実習	3後	2				1	1	1			
	精神看護学総論	2前	2					1				
	精神臨床看護学	2後	2						1			
	精神看護学演習	3前	1					1	1			
	精神看護学実習	3後	2					1	1			
	在宅看護学総論	2前	1			1						
	在宅臨床看護学	2後	2				1					
	在宅看護学演習	3前	1				1	2				
	在宅看護学実習	4前	2				2	2	2			
	家族ケア論	4後		1			1					
	国際看護	4後		1				1				
	災害看護	4後		1					1			
	看護と安全	3前	2							1		
	看護倫理	1後	1							1		
	統合実習	4前	2				3	3	8	8		
	公衆衛生看護学総論	2前	2				1					
	健康相談活動の理論及び方法	2後	2				1					
	産業保健論	3前	2					1				
	学校保健論(学校安全を含む)	2前	2				1					
	公衆衛生看護活動論	2後	2				1			2		
公衆衛生学	1後	1				1						
疫学	2後	1								1		
保健基礎統計学	3前	2					1					
公衆衛生看護学総論実習 I	3後	2				1	2	2				
公衆衛生看護学総論実習 II	4前	2				1	2	2				
公衆衛生看護学総論実習 III	4後	1				1	2	2				
助産学概論	2前	2				1					1	
助産管理論	2後	2				1					1	
周産期医学	2後	2									1	
助産診断・技術学概論	3前	1				2					1	
助産診断・技術学 I	3前	1				2	1				1	
助産診断・技術学 II	3前	1				2	1				1	
助産診断・技術学 III	3前	1				2	1				1	
助産診断・技術学 IV	3前	1				2	1				1	
助産学実習 I	4前	5				3	1	1				
助産学実習 II	4後	6				3	1	1				
研究方法論	2後	2					1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	基礎看護技術論 I	1前	2				1		1	1		
	基礎看護技術論 II	1後	2				1		1	1		
	基礎看護学演習 I	1前	1				1		1	1		
	基礎看護学演習 II	1後	1				1		1	1		
	基礎看護学演習 III	2前	1				1		2	1		
	基礎看護学実習 I	1後	1				1		1	1		
	基礎看護学実習 II	2前	2				1		1	1		
	成人看護学総論	1後	2					1	2			
	成人臨床看護学 I	2前	2					1	2			
	成人臨床看護学 II	2後	2					1	2			
	成人看護学演習	3前	1					1	2			
	成人看護学実習 I (必修・回復期)	3後	3					1	2			
	成人看護学実習 II (後学期・特定期)	3後	3					1	2			
	老年看護学総論	2前	2					1	1			
	老年臨床看護学	2後	2					1	1			
	老年看護学演習	3前	1					1	1			
	老年看護学実習 I (生活援助)	3後	2					1	1			
	老年看護学実習 II (健康障害)	3後	2					1	1			
	小児看護学総論	2前	2						1			
	小児臨床看護学	2後	2						1			
	小児看護学演習	3前	1						1			
	小児看護学実習	4前	2						1			
	母性看護学総論	2前	2					1	1	1		
	母性臨床看護学	2後	2					1	2	1		
	母性看護学演習	3前	1					1	1			
	母性看護学実習	4前	2					2	3	1		
	精神看護学総論	2前	2						1		1	
	精神臨床看護学	2後	2						1		1	
	精神看護学演習	3前	1						1		1	
	精神看護学実習	3後	2						1		1	
	在宅看護学総論	2前	1							1	1	
	在宅臨床看護学	2後	2							1	1	
	在宅看護学演習	3前	1							1	1	
	在宅看護学実習	4前	2					1		3	1	
	家族ケア論	4後		1				1	1	1		
	国際看護	4後		1				1	1	1		
	災害看護	4後		1				1	1	2		
	看護と安全	3前	2						1			
	看護倫理	1後	1					1				
	統合実習	4前	2					4	3	11	4	
	公衆衛生看護学総論	2前	2					1		1		
	健康相談活動の理論及び方法	2後	2					1				
	産業保健論	3前	2							1		
	学校保健論(学校安全を含む)	2前	2					1				
	公衆衛生看護活動論	2後	2					1		1		
公衆衛生学	1後	1					1					
疫学	2後	1					1		1			
保健基礎統計学	3前	2					1		1			
公衆衛生看護学総論実習 I	3後	2					1		2			
公衆衛生看護学総論実習 II	4前	2					1		2			
公衆衛生看護学総論実習 III	4後	2					1		2			
助産学概論	2前	2					1		1	1		
助産管理論	2後	2					1		1	1		
周産期医学	2後	2					1		1	1		
助産診断・技術学概論	3前	1					1		1	1		
助産診断・技術学 I	3前	1					1		1	1		
助産診断・技術学 II	3前	1					1		1	1		
助産診断・技術学 III	3前	1					1		1	1		
助産診断・技術学 IV	3前	1					1		1	1		
助産学実習 I	4前	5					2		3	1		
助産学実習 II	4後	6					2		3	1		
研究方法論	2後	2					2	2	2			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	卒業論文	4通	2			7	3	7	3		
	小計(88科目)	-	98	52	0	63	19	61	68	0	19
自由選択科目	養護総論	2後			2	1					
	教師論(中等)	1後			2						1
	教育基礎論(中等)	2後			2						1
	教育心理学(中等)	1後			2						1
	教育制度論(中等)	2後			2						1
	発達心理学(中等)	3前			2						1
	教育課程論(中等)	3前			2						1
	道徳教育の指導法(中等)	3前			2						1
	特別活動の指導法(中等)	3前			2						1
	教育の方法技術(中等)	2後			2						2
	生徒・進路指導論(中等)	3前			2						1
	教育相談の方法(中等)	3前			2						1
	養護実習事前事後指導	3前			1	1					1
	養護実習Ⅰ	3後			2	1					1
	養護実習Ⅱ	4前			2	1					1
	教職実践演習(養護教諭)	4後			2	1					
小計(16科目)	-	0	0	31	5	0	0	0	0	15	
合計(133科目)	-	114	82	31	72	22	67	72	0	63	
卒業要件及び履修方法											
必須科目114単位、選択科目11単位以上を習得し、125単位以上習得すること。 (履修科目の登録の上限:45単位(年間))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通科目	卒業論文	4通	2				1	1	1		
	小計(84科目)	-	101	44	0	57	27	95	41	0	15
自由選択科目	養護実習Ⅱ	4前			2	1					
	教職実践演習(養護教諭)	4後			2	1					
	言葉と文学	1前			2						1
	くらしと芸術	1前			2						1
	哲学概論	1後			2						1
	生活文化概論	1前			2						1
	くらしと福祉	1後			2						1
	くらしと人権	1前			2						1
	国際関係論	1前			2						1
	経済学概論	1前			2						1
	経営学入門	1前			2						1
	政治学入門	1前			2						1
	行政学入門	1前			2						1
	現代社会学	1後			2						1
	健康科学概論	1後			2						1
	小計(10科目)	-	0	0	30	2	0	0	0	0	13
合計(105科目)	-	123	44	30	64	30	107	45	0	35	
卒業要件及び履修方法											
必須科目124単位を習得すること。 (履修科目の登録の上限:45単位(年間))											

【平成26年度】

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基礎科目	言葉と文学	2前	2								1
	くらしと芸術	2前	2								2
	心理学概論	1後	2								2
	哲学概論	1前	2								1
	生活文化概論	1後	2								1
	日本国憲法	1前	2								1
	くらしと福祉	1後	2								1
	くらしと人権	1後	2								1
	経済学概論	1前	2								1
	国際関係論	1前	2								1
	人間と生命	2前	2								2
	情報処理 I	1前	1								1
	情報処理 II	1後	1								1
	基礎統計学	1後	2								1
	英語 I	1前	1								1
	英語 II	1後	1								1
	中国語 I	1前	1								1
	中国語 II	1後	1								2
	フランス語 I	1前	1								1
	フランス語 II	1後	1								1
	ドイツ語 I	1前	1								1
	ドイツ語 II	1後	1								1
	スポーツ I	1前	1								1
	スポーツ II	1後	1								1
	健康科学概論	1前	2			1					1
	基礎セミナー I	1通	2					2	2		
	基礎セミナー II	2通	2				1	1	2		
	卒業研究 I	3通	2				1	3			
	卒業研究 II	4通	2				3	1			
小計(29科目)	-	16	30	0	4	3	6	4	0	29	
専門教育科目	チーム医療概論 I	1前	1			1	1				3
	チーム医療概論 II	1後	1			1	1				3
	人々の健康と福祉 I(看護・保健・衛生)	1前	2								1
	人々の健康と福祉 II(保健・食生活・生活習慣)	1前	2								1
	生化学	1前	2								1
	病態学総論	1後	1			1					
	病態治療論 I(呼吸と循環)	1後	2			1					
	病態治療論 II(代謝と栄養)	1後	2			1					
	病態治療論 III(神経と運動)	1後	2			1					
	病態治療論 IV(血液)	2前	1			1					
	病態治療論 V(排泄・感覚)	2前	1			1					
	微生物と感染	1後	2								1
	治療学総論	1前	1			1					
	薬理学	2前	2								1
	リハビリテーション概論	1前	1		1						1
	看護と法律	3前	1								1
	環境と健康	1前	1			1					
	保健医療福祉行政論	3前	2			1					
	臨床心理学	2前	2								1
	精神保健	2前	2					1			
	カウンセリング	2後	1								1
	栄養学	2前	1								1
	食品学	2前	1								1
	基礎看護学総論 I	1前	2					2			1
	基礎看護学総論 II	1後	2					2			1
	基礎看護技術論 I	1前	2					2	2		1
	基礎看護技術論 II	1後	2					2	2		1
	基礎看護学演習 I	1前	1				2	2	3		1
	基礎看護学演習 II	1後	1				2	2	3		1
基礎看護学演習 III	2前	1				2	2	3		1	
基礎看護学実習 I	1後	1				2	2	3		1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通基礎科目	言葉と文学	2前	2								1
	くらしと芸術	2前	2								2
	心理学概論	1後	2								2
	哲学概論	1前	2								1
	生活文化概論	1後	2								1
	日本国憲法	1前	2								1
	くらしと福祉	1後	2								1
	くらしと人権	1後	2								1
	経済学概論	1前	2								1
	国際関係論	1前	2								1
	人間と生命	2前	2								2
	情報処理 I	1前	1								1
	情報処理 II	1後	1								1
	基礎統計学	1後	2								1
	英語 I	1前	1								1
	英語 II	1後	1								1
	中国語 I	1前	1								1
	中国語 II	1後	1								1
	フランス語 I	1前	1								1
	フランス語 II	1後	1								1
	ドイツ語 I	1前	1								1
	ドイツ語 II	1後	1								1
	スポーツ I	1前	1								1
	スポーツ II	1後	1								1
	健康科学概論	1前	2			1					1
	基礎セミナー I	1通	2							2	
	基礎セミナー II	2通	2					2		2	
	卒業研究 I	3通	2					1			
	卒業研究 II	4通	2					1	2		
小計(29科目)	-	16	30	0	2	5	0	4	0	28	
専門教育科目	チーム医療概論 I	1前	1				1				4
	チーム医療概論 II	1後	1				1				4
	人々の健康と福祉 I(看護・保健・衛生)	1前	2								1
	人々の健康と福祉 II(保健・食生活・生活習慣)	1前	2								1
	生化学	1前	2								1
	病態学総論	1後	1								1
	病態治療論 I(呼吸と循環)	1後	2								1
	病態治療論 II(代謝と栄養)	1後	2								1
	病態治療論 III(神経と運動)	1後	2								1
	病態治療論 IV(血液)	2前	1								1
	病態治療論 V(排泄・感覚)	2前	1								1
	微生物と感染	1後	2								1
	治療学総論	1前	1								1
	薬理学	2前	2								1
	リハビリテーション概論	1前	1		1						1
	看護と法律	3前	1								1
	環境と健康	1前	1				1				
	保健医療福祉行政論	3前	2				1				
	臨床心理学	2前	2								1
	精神保健	2前	2						1		
	カウンセリング	2後	1								1
	栄養学	2前	1								1
	食品学	2前	1								1
	基礎看護学総論 I	1前	2					2			1
	基礎看護学総論 II	1後	2					2			1
	基礎看護技術論 I	1前	2					2	2		1
	基礎看護技術論 II	1後	2					2	2		1
	基礎看護学演習 I	1前	1					1		2	1
	基礎看護学演習 II	1後	1					1		2	1
基礎看護学演習 III	2前	1					1		2	1	
基礎看護学実習 I	1後	1					1		2	4	

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	基礎看護学実習Ⅱ	2前	2			2		2	3			
	成人看護学総論	1後	2			1						
	成人臨床看護学Ⅰ	2前	2			1						
	成人臨床看護学Ⅱ	2後	2				1					
	成人看護学演習	3前	1			1	1		3			
	成人看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)	3後	3			2		1	1			
	成人看護学実習Ⅱ(慢性期・終末期)	4前	3			1	1	1	1			
	老年看護学総論	2前	2			1						
	老年臨床看護学	2後	2						1			
	老年看護学演習	3前	1			1			1			
	老年看護学実習Ⅰ(生活援助)	3後	2			1			1			
	老年看護学実習Ⅱ(健康障害)	3後	2			1			1			
	小児看護学総論	2前	2					1				
	小児臨床看護学	2後	2						1			
	小児看護学演習	3前	1					1	1			
	小児看護学実習	4前	2					1	1			
	母性看護学総論	2前	2						1			
	母性臨床看護学	2後	2					1				
	母性看護学演習	3前	1				1	1	1			
	母性看護学実習	3後	2				1	1	1			
	精神看護学総論	2前	2					1				
	精神臨床看護学	2後	2						1			
	精神看護学演習	3前	1					1	1			
	精神看護学実習	3後	2					1	1			
	在宅看護学総論	2前	1			1						
	在宅臨床看護学	2後	2			1						
	在宅看護学演習	3前	1			1		2				
	在宅看護学実習	4前	2			2		2	2			
	家族ケア論	4後		1		1						
	国際看護	4後		1				1				
	災害看護	4後		1					1			
	看護と安全	3前	2			1						
	看護倫理	1後	1			1						
	統合実習	4前	2			4	3	8	7			
	公衆衛生看護学総論	2前		2		1						
	健康相談活動の理論及び方法	2後		2		1						
	産業保健論	3前		2				1				
	学校保健論(学校安全を含む)	2前		2		1						
	公衆衛生看護学活動論	2後		2		1			2			
	公衆衛生学	1後		1		1						
	疫学	2後		1							1	
	保健基礎統計学	3前		2			1					
	公衆衛生看護学総論実習Ⅰ	3後		2		1		2	2			
	公衆衛生看護学総論実習Ⅱ	4前		2		1		2	2			
公衆衛生看護学総論実習Ⅲ	4後		1		1		2	2				
助産学概論	2前		2		1							
助産管理論	2後		2		1							
周産期医学	2後		2							1		
助産診断・技術学概論	3前		1		2							
助産診断・技術学Ⅰ	3前		1		2		1					
助産診断・技術学Ⅱ	3前		1		2		1					
助産診断・技術学Ⅲ	3前		1		2		1					
助産診断・技術学Ⅳ	3前		1		2		1					
助産学実習Ⅰ	4前		5		3		1	1				
助産学実習Ⅱ	4後		6		3		1	1				
研究方法論	2後		2			1						
卒業論文	4通		2		7	3	7	3				
小計(88科目)	-		98	52	0	76	15	63	60	0	19	
自由選択科目	養護総論	2後			2	1						
	教師論(中等)	1後			2					3		
	教育基礎論(中等)	2後			2					3		
	教育心理学(中等)	1後			2					1		
	教育制度論(中等)	2後			2					4		

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	基礎看護学実習Ⅱ	2前	2								2	1
	成人看護学総論	1後	2					1				
	成人臨床看護学Ⅰ	2前	2					1				
	成人臨床看護学Ⅱ	2後	2						1			
	成人看護学演習	3前	1						2		2	
	成人看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)	3後	3						1		1	
	成人看護学実習Ⅱ(慢性期・終末期)	4前	3						1		1	
	老年看護学総論	2前	2									1
	老年臨床看護学	2後	2								1	
	老年看護学演習	3前	1								1	
	老年看護学実習Ⅰ(生活援助)	3後	2								1	
	老年看護学実習Ⅱ(健康障害)	3後	2								1	
	小児看護学総論	2前	2						1			
	小児臨床看護学	2後	2								1	
	小児看護学演習	3前	1						1		1	
	小児看護学実習	4前	2						1		1	
	母性看護学総論	2前	2								1	
	母性臨床看護学	2後	2							1		
	母性看護学演習	3前	1					1	1	1		
	母性看護学実習	3後	2					1	1	1		
	精神看護学総論	2前	2						1			
	精神臨床看護学	2後	2							1		
	精神看護学演習	3前	1							1	1	
	精神看護学実習	3後	2							1	1	
	在宅看護学総論	2前	1					1				
	在宅臨床看護学	2後	2					1				
	在宅看護学演習	3前	1					1				
	在宅看護学実習	4前	2					1	1		2	
	家族ケア論	4後		1				1				
	国際看護	4後		1						1		
	災害看護	4後		1							1	
	看護と安全	3前	2						1			
	看護倫理	1後	1						1			1
	統合実習	4前	2					1	5	2	7	
	公衆衛生看護学総論	2前		2				1				
	健康相談活動の理論及び方法	2後		2				1				
	産業保健論	3前		2								
	学校保健論(学校安全を含む)	2前		2				1				
	公衆衛生看護学活動論	2後		2				1			2	
	公衆衛生学	1後		1				1				
	疫学	2後		1								1
	保健基礎統計学	3前		2					1			
	公衆衛生看護学総論実習Ⅰ	3後		2				1			2	
	公衆衛生看護学総論実習Ⅱ	4前		2				1			2	
公衆衛生看護学総論実習Ⅲ	4後		1				1			2		
助産学概論	2前		2				1					
助産管理論	2後		2				1					
周産期医学	2後		2								1	
助産診断・技術学概論	3前		1		2							
助産診断・技術学Ⅰ	3前		1		2		1					
助産診断・技術学Ⅱ	3前		1		2		1					
助産診断・技術学Ⅲ	3前		1		2		1					
助産診断・技術学Ⅳ	3前		1		2		1					
助産学実習Ⅰ	4前		5		3		3	1	1			
助産学実習Ⅱ	4後		6		3		3	1	1			
研究方法論	2後		2					1				
卒業論文	4通		2					5	5	1	3	
小計(88科目)	-		98	52	0	41	25	17	54	0	39	
自由選択科目	養護総論	2後			2	1						
	教師論(中等)	1後			2						3	
	教育基礎論(中等)	2後			2						3	
	教育心理学(中等)	1後			2						1	
	教育制度論(中等)	2後			2						4	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
自由 選 択 科 目	発達心理学(中等)	3前			2							1
	教育課程論(中等)	3前			2							1
	道徳教育の指導法(中等)	3前			2							1
	特別活動の指導法(中等)	3前			2							1
	教育の方法技術(中等)	2後			2							2
	生徒・進路指導論(中等)	3前			2							1
	教育相談の方法(中等)	3前			2							1
	養護実習事前事後指導	3前			1	1						1
	養護実習Ⅰ	3後			2	1						1
	養護実習Ⅱ	4前			2	1						1
	教職実践演習(養護教諭)	4後			2	1						1
小計(16科目)	-	0	0	31	5	0	0	0	0	0	19	
合計(133科目)	-	114	82	31	85	18	69	64	0	67		
卒業要件及び履修方法												
必須科目114単位、選択科目11単位以上を習得し、125単位以上習得すること。 (履修科目の登録の上限:45単位(年間))												

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
自由 選 択 科 目	発達心理学(中等)	3前			2							1
	教育課程論(中等)	3前			2							1
	道徳教育の指導法(中等)	3前			2							1
	特別活動の指導法(中等)	3前			2							1
	教育の方法技術(中等)	2後			2							2
	生徒・進路指導論(中等)	3前			2							1
	教育相談の方法(中等)	3前			2							1
	養護実習事前事後指導	3前			1	1						1
	養護実習Ⅰ	3後			2	1						1
	養護実習Ⅱ	4前			2	1						1
	教職実践演習(養護教諭)	4後			2	1						1
小計(16科目)	-	0	0	31	5	0	0	0	0	0	19	
合計(133科目)	-	114	82	31	85	18	69	64	0	67		
卒業要件及び履修方法												
必須科目114単位、選択科目11単位以上を習得し、125単位以上習得すること。 (履修科目の登録の上限:45単位(年間))												

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
共通基礎科目	言葉と文学	2前	2							1
	くらしと芸術	2前	2							2
	心理学概論	1後	2							2
	哲学概論	1前	2							1
	生活文化概論	1後	2							1
	日本国憲法	1前	2							1
	くらしと福祉	1後	2							1
	くらしと人権	1後	2							1
	経済学概論	1前	2							1
	国際関係論	1前	2							1
	人間と生命	2前	2							2
	情報処理 I	1前	1							1
	情報処理 II	1後	1							1
	基礎統計学	1後	2							1
	英語 I	1前	1							1
	英語 II	1後	1							1
	中国語 I	1前	1							1
	中国語 II	1後	1							1
	フランス語 I	1前	1							1
	フランス語 II	1後	1							1
	ドイツ語 I	1前	1							1
	ドイツ語 II	1後	1							1
	スポーツ I	1前	1							1
	スポーツ II	1後	1							1
	健康科学概論	1前	2							2
	基礎セミナー I	1通	2				1		2	1
	基礎セミナー II	2通	2				2		2	2
	卒業研究 I	3通	2				1		1	1
	卒業研究 II	4通	2				1			
小計(29科目)	-	16	30	0	0	5	0	5	0	33
専門教育科目	チーム医療概論 I	1前	1							5
	チーム医療概論 II	1後	1							5
	人間の発達と福祉 I(保健・福祉・基研等)	1前	2			1				
	人間の発達と福祉 II(保健・福祉・基研等)	1前	2							1
	生化学	1前	2							1
	病態学総論	1後	1							1
	病態治療論 I(呼吸と循環)	1後	2							1
	病態治療論 II(代謝と栄養)	1後	2							1
	病態治療論 III(神経と運動)	1後	2							1
	病態治療論 IV(血液)	2前	1							1
	病態治療論 V(排泄・感覚)	2前	1							1
	微生物と感染	1後	2							1
	治療学総論	1前	1							1
	薬理学	2前	2							1
	リハビリテーション概論	1前	1							1
	看護と法律	3前	1							1
	環境と健康	1前	1							1
	保健医療福祉行政論	3前	2							1
	臨床心理学	2前	2							1
	精神保健	2前	2				1			
	カウンセリング	2後	1							1
	栄養学	2前	1							1
	食品学	2前	1							1
	基礎看護学総論 I	1前	2				1			1
	基礎看護学総論 II	1後	2				1			1
	基礎看護技術論 I	1前	2				1		3	
	基礎看護技術論 II	1後	2				1		3	
	基礎看護学演習 I	1前	1				1		3	1
	基礎看護学演習 II	1後	1				1		3	1
基礎看護学演習 III	2前	1				1		3	1	
基礎看護学実習 I	1後	1				1		3	1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		
共通基礎科目	言葉と文学	2前	2							1	
	くらしと芸術	2前	2							2	
	心理学概論	1後	2							2	
	哲学概論	1前	2							1	
	生活文化概論	1後	2							1	
	日本国憲法	1前	2							1	
	くらしと福祉	1後	2							1	
	くらしと人権	1後	2							1	
	経済学概論	1前	2							1	
	国際関係論	1前	2							1	
	人間と生命	2前	2							2	
	情報処理 I	1前	1							1	
	情報処理 II	1後	1							1	
	基礎統計学	1後	2							1	
	英語 I	1前	1							1	
	英語 II	1後	1							1	
	中国語 I	1前	1							1	
	中国語 II	1後	1							1	
	フランス語 I	1前	1							1	
	フランス語 II	1後	1							1	
	ドイツ語 I	1前	1							1	
	ドイツ語 II	1後	1							1	
	スポーツ I	1前	1							1	
	スポーツ II	1後	1							1	
	健康科学概論	1前	2							2	
	基礎セミナー I	1通	2					1		2	
	基礎セミナー II	2通	2				2	1		1	
	卒業研究 I	3通	2					1	1	3	
	卒業研究 II	4通	2					1	1	2	
小計(29科目)	-	16	30	0	0	3	4	3	6	0	29
専門教育科目	チーム医療概論 I	1前	1					1			4
	チーム医療概論 II	1後	1					1			4
	人間の発達と福祉 I(保健・福祉・基研等)	1前	2				1				
	人間の発達と福祉 II(保健・福祉・基研等)	1前	2					1			
	生化学	1前	2								1
	病態学総論	1後	1								1
	病態治療論 I(呼吸と循環)	1後	2								1
	病態治療論 II(代謝と栄養)	1後	2								1
	病態治療論 III(神経と運動)	1後	2								1
	病態治療論 IV(血液)	2前	1								1
	病態治療論 V(排泄・感覚)	2前	1								1
	微生物と感染	1後	2								1
	治療学総論	1前	1								1
	薬理学	2前	2								1
	リハビリテーション概論	1前	1								1
	看護と法律	3前	1								1
	環境と健康	1前	1							1	
	保健医療福祉行政論	3前	2								1
	臨床心理学	2前	2								1
	精神保健	2前	2						1		
	カウンセリング	2後	1								1
	栄養学	2前	1								1
	食品学	2前	1								1
	基礎看護学総論 I	1前	2				1	1			1
	基礎看護学総論 II	1後	2				1	1			1
	基礎看護技術論 I	1前	2				1			2	
	基礎看護技術論 II	1後	2				1			2	
	基礎看護学演習 I	1前	1				1			3	
	基礎看護学演習 II	1後	1				1			3	
基礎看護学演習 III	2前	1				1			3		
基礎看護学実習 I	1後	1				1			3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	基礎看護学実習Ⅱ	2前	2				1		3		1	
	成人看護学総論	1後	2				1					
	成人臨床看護学Ⅰ	2前	2				1					
	成人臨床看護学Ⅱ	2後	2								1	
	成人看護学演習	3前	1				1		3		1	
	成人看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)	3後	3				1		2			
	成人看護学実習Ⅱ(慢性期・往來期)	4前	3						2		1	
	老年看護学総論	2前	2								1	
	老年臨床看護学	2後	2								1	
	老年看護学演習	3前	1								1	
	老年看護学実習Ⅰ(生活援助)	3後	2								1	
	老年看護学実習Ⅱ(健康障害)	3後	2								1	
	小児看護学総論	2前	2								1	
	小児臨床看護学	2後	2							1		
	小児看護学演習	3前	1							1		1
	小児看護学実習	4前	2							1		1
	母性看護学総論	2前	2							1		
	母性臨床看護学	2後	2					1				
	母性看護学演習	3前	1				1	1	1			
	母性看護学実習	3後	2				1	1	1			
	精神看護学総論	2前	2						1			
	精神臨床看護学	2後	2							1		
	精神看護学演習	3前	1					1	1			
	精神看護学実習	3後	2					1	1			
	在宅看護学総論	2前	1								1	
	在宅臨床看護学	2後	2							1	1	1
	在宅看護学演習	3前	1				1			1	1	1
	在宅看護学実習	4前	2				1			1	1	2
	家族ケア論	4後		1								1
	国際看護	4後		1					1			
	災害看護	4後		1						1		
	看護と安全	3前	2				1					
	看護倫理	1後	1								1	
	統合実習	4前	2				5	2	8		4	
	公衆衛生看護学総論	2前	2								1	
	健康相談活動の理論及び方法	2後	2			1						
	産業保健論	3前	2								1	
	学校保健論(学校安全を含む)	2前	2			1						
	公衆衛生看護学活動論	2後	2								1	
	公衆衛生学	1後	1								1	
	疫学	2後	1								1	
	保健基礎統計学	3前	2								1	
	公衆衛生看護学総論実習Ⅰ	3後	2							2		1
	公衆衛生看護学総論実習Ⅱ	4前	2							2		1
	公衆衛生看護学総論実習Ⅲ	4後	1								2	1
	助産学概論	2前	2			1						
助産管理論	2後	2			1							
周産期医学	2後	2									1	
助産診断・技術学概論	3前	1			2							
助産診断・技術学Ⅰ	3前	1			2		1					
助産診断・技術学Ⅱ	3前	1			2		1					
助産診断・技術学Ⅲ	3前	1			2		1					
助産診断・技術学Ⅳ	3前	1			2		1					
助産学実習Ⅰ	4前	5			3		1	1				
助産学実習Ⅱ	4後	6			3		1	1				
研究方法論	2後	2				1						
卒業論文	4通	2				4	5		4		2	
小計(88科目)	-	98	52	0	26	28	16	58	0	66		
自由選択科目	養護総論	2後			2	1						
	教師論(中等)	1後			2						2	
	教育基礎論(中等)	2後			2						2	
	教育心理学(中等)	1後			2						1	
	教育制度論(中等)	2後			2							4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	基礎看護学実習Ⅱ	2前	2				1		3			
	成人看護学総論	1後	2				1					
	成人臨床看護学Ⅰ	2前	2				1					
	成人臨床看護学Ⅱ	2後	2						1			
	成人看護学演習	3前	1				1	1		3		
	成人看護学実習Ⅰ(急性期・回復期)	3後	3				1			2		
	成人看護学実習Ⅱ(慢性期・往來期)	4前	3						1		2	
	老年看護学総論	2前	2									1
	老年臨床看護学	2後	2								1	
	老年看護学演習	3前	1							1	2	
	老年看護学実習Ⅰ(生活援助)	3後	2							1	2	
	老年看護学実習Ⅱ(健康障害)	3後	2							1	2	
	小児看護学総論	2前	2									1
	小児臨床看護学	2後	2								1	
	小児看護学演習	3前	1								1	1
	小児看護学実習	4前	2								1	1
	母性看護学総論	2前	2						1			
	母性臨床看護学	2後	2							1		
	母性看護学演習	3前	1				1	1	1			
	母性看護学実習	3後	2				1	1	1			
	精神看護学総論	2前	2							1		
	精神臨床看護学	2後	2								1	
	精神看護学演習	3前	1							1	1	
	精神看護学実習	3後	2							1	1	
	在宅看護学総論	2前	1						1			
	在宅臨床看護学	2後	2						1	1	1	
	在宅看護学演習	3前	1				1			1	1	
	在宅看護学実習	4前	2				1			1	1	2
	家族ケア論	4後		1								1
	国際看護	4後		1						1		
	災害看護	4後		1							1	
	看護と安全	3前	2				1					
	看護倫理	1後	1									1
	統合実習	4前	2				1	4	2	11		4
	公衆衛生看護学総論	2前	2									1
	健康相談活動の理論及び方法	2後	2			1						
	産業保健論	3前	2								1	
	学校保健論(学校安全を含む)	2前	2			1						
	公衆衛生看護学活動論	2後	2								1	
	公衆衛生学	1後	1									1
	疫学	2後	1									1
	保健基礎統計学	3前	2									1
	公衆衛生看護学総論実習Ⅰ	3後	2								2	1
	公衆衛生看護学総論実習Ⅱ	4前	2								2	1
	公衆衛生看護学総論実習Ⅲ	4後	1								2	1
	助産学概論	2前	2			1						
助産管理論	2後	2			1							
周産期医学	2後	2									1	
助産診断・技術学概論	3前	1			2							
助産診断・技術学Ⅰ	3前	1			2		1					
助産診断・技術学Ⅱ	3前	1			2		1					
助産診断・技術学Ⅲ	3前	1			2		1					
助産診断・技術学Ⅳ	3前	1			2		1					
助産学実習Ⅰ	4前	5			3		2	1	1			
助産学実習Ⅱ	4後	6			3		2	1	1			
研究方法論	2後	2				1						
卒業論文	4通	2				5	4		2	8		
小計(88科目)	-	98	52	0	35	35	24	78	0	46		
自由選択科目	養護総論	2後			2	1						
	教師論(中等)	1後			2						2	
	教育基礎論(中等)	2後			2						2	
	教育心理学(中等)	1後			2						1	
	教育制度論(中等)	2後			2							4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
自由選択科目	発達心理学(中等)	3前			2						1
	教育課程論(中等)	3前			2						1
	道徳教育の指導法(中等)	3前			2						1
	特別活動の指導法(中等)	3前			2						1
	教育の方法技術(中等)	2後			2						2
	生徒・進路指導論(中等)	3前			2						1
	教育相談の方法(中等)	3前			2						1
	養護実習事前事後指導	3前			1	1					1
	養護実習Ⅰ	3後			2	1					1
	養護実習Ⅱ	4前			2	1					1
	教職実践演習(養護教諭)	4後			2	1					1
小計(16科目)	-	0	0	31	5	0	0	0	0	17	
合計(133科目)	-	114	82	31	31	33	16	63	0	116	
卒業要件及び履修方法											
必須科目114単位、選択科目11単位以上を習得し、125単位以上習得すること。 (履修科目の登録の上限:45単位(年間))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
自由選択科目	発達心理学(中等)	3前			2						1
	教育課程論(中等)	3前			2						1
	道徳教育の指導法(中等)	3前			2						1
	特別活動の指導法(中等)	3前			2						1
	教育の方法技術(中等)	2後			2						2
	生徒・進路指導論(中等)	3前			2						1
	教育相談の方法(中等)	3前			2						1
	養護実習事前事後指導	3前			1	1					1
	養護実習Ⅰ	3後			2	1					1
	養護実習Ⅱ	4前			2	1					1
	教職実践演習(養護教諭)	4後			2	1					1
小計(16科目)	-	0	0	31	5	0	0	0	0	17	
合計(133科目)	-	114	82	31	43	39	27	84	0	92	
卒業要件及び履修方法											
必須科目114単位、選択科目11単位以上を習得し、125単位以上習得すること。 (履修科目の登録の上限:45単位(年間))											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎科目	言葉と文学	2前		2								1
	くらしと芸術	2前		2								1
	心理学概論	1後	2									1
	日本国憲法	1前	2									1
	人間と生命	2前		2		1						1
	情報処理	1後	2									1
	基礎統計学	1後	2									1
	英語 I	1前	2								1	
	英語 II	1後	2								1	
	スポーツ	1前	2									1
	基礎セミナー I	1通	2			1		4				
	基礎セミナー II	2通	2					4				
	卒業研究 I	3通	2			1	2	2				
	卒業研究 II	4通	2			4	1	2				
小計(14科目)	-	22	6	0	7	3	12	0	0	10		
専門教育科目	チーム医療概論 I	1前	1				1					4
	チーム医療概論 II	1後	1				1					4
	人々の健康と福祉 I(健康・食生活・生活等)	1前	2			2	2	10				
	人々の健康と福祉 II(健康・食生活・生活等)	1前	2			2	2	10				
	生化学	1前	2									1
	病態学総論	1後	1									1
	病態治療論 I(呼吸と循環)	1後	2									1
	病態治療論 II(代謝と栄養)	1後	2									1
	病態治療論 III(神経と運動)	1後	2									1
	病態治療論 IV(血液)	2前	1									1
	病態治療論 V(排泄・感覚)	2前	1									1
	微生物と感染	1後	2									1
	治療学総論	1前	1									1
	薬理学	2前	2									1
	看護と法律	3前	1				1					
	環境と健康	1前	1					1				
	保健医療福祉行政論	3前	2			1						
	臨床心理学	2前	2	2								1
	精神保健	2前	2	2			1					
カウンセリング	2後	1									1	
栄養学	2前	1									1	
食品学	2前	1									1	
基礎看護学総論 I	1前	2			1		2					
基礎看護学総論 II	1後	2			1		2					

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通基礎科目	心理学概論	1後	2									1
	日本国憲法	1前	2									1
	情報処理	1後	2									1
	基礎統計学	1後	2									1
	英語 I	1前	2					1				
	英語 II	1後	2					1				
	スポーツ	1前	2									1
	基礎セミナー I	1通	2					1		3	2	
	基礎セミナー II	2通	2					1	1	4		
	卒業研究 I	3通	2					1	2	3		
	卒業研究 II	4通	2					2	1	3		
小計(11科目)	-	22	0	0	7	4	13	2	0	5		
専門教育科目	チーム医療概論 I	1前	1							1		4
	チーム医療概論 II	1後	1							1		4
	人々の健康と福祉 I(健康・食生活・生活等)	1前	2			2	3	10		1		
	人々の健康と福祉 II(健康・食生活・生活等)	1前	2			2	3	10		1		
	生化学	1前	2					1				
	病態学総論	1後	1									1
	病態治療論 I(呼吸と循環)	1後	2									1
	病態治療論 II(代謝と栄養)	1後	2									1
	病態治療論 III(神経と運動)	1後	2									1
	病態治療論 IV(血液)	2前	1									1
	病態治療論 V(排泄・感覚)	2前	1									1
	微生物と感染	1後	2									1
	治療学総論	1前	1									1
薬理学	2前	2									1	
看護と法律	3前	1					1					
環境と健康	1前	1							1			
保健医療福祉行政論	3前	2					1					
精神保健	2前	2						1				
食品・栄養学	2前	1									1	
基礎看護学総論 I	1前	2					1		2			
基礎看護学総論 II	1後	2					1		2			

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
自由選択科目	卒業論文	4通	2			6	3	12				
	小計(87科目)	-	98	51	0	67	34	138	0	0	22	
	養護総論	2後			2	1						
	教育基礎論(中等)	2後			2						1	
	教育制度論(中等)	2後			2						1	
	発達心理学(中等)	3前			2						1	
	教育課程論(中等)	3前			2						1	
	道徳教育の指導法(中等)	3前			2						1	
	特別活動の指導法(中等)	3前			2						1	
	教育の方法技術(中等)	2後			2						1	
	生徒・進路指導論(中等)	3前			2						1	
	教育相談の方法(中等)	3前			2						1	
	養護実習事前事後指導	3前			1	1					1	
	養護実習 I	3後			2	1						
養護実習 II	4前			2	1							
教職実践演習(養護教諭)	4後			2	1							
小計(14科目)	-	0	0	31	5	0	0	0	0	10		
合計(133科目)	-	120	57	31	79	37	150	0	0	42		
卒業要件及び履修方法												
必須科目124単位を習得すること。 (履修科目の登録の上限:45単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	記当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
自由選択科目	卒業論文	4通	2			6	3	12				
	小計(84科目)	-	101	44	0	62	45	156	16	0	18	
	発達心理学(中等)	3前			2							1
	教育課程論(中等)	3前			2							1
	道徳教育の指導法(中等)	3前			2							1
	特別活動の指導法(中等)	3前			2							1
	生徒・進路指導論(中等)	3前			2							1
	教育相談の方法(中等)	3前			2							1
	養護実習事前事後指導	3前			1	1						1
	養護実習 I	3後			2	1						
	養護実習 II	4前			2	1						
	教職実践演習(養護教諭)	4後			2	1						
	小計(10科目)	-	0	0	19	4	0	0	0	0	7	
	合計(105科目)	-	123	44	19	73	49	169	18	0	30	
卒業要件及び履修方法												
必須科目124単位を習得すること。 (履修科目の登録の上限:45単位(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	西大和学園中学・高等 学校 (必要面積18,120㎡) 白鳳短期大学 (必要面積7,100㎡) と共用 新学部設置計画のため 校舎敷地拡張。 借入面積: 56,327.21 ㎡ 借用期間: 23年 (2)		
	校 舎 敷 地	44,679.69㎡ 25,907.16㎡ 16,660.72㎡	0 ㎡	48,773.43㎡ 44,743.60㎡	93,453.12㎡ 74,680.59㎡ 61,404.32㎡			
	運 動 場 用 地	7,400.64㎡ 3,191.25㎡	11,858.00㎡	14,232.00㎡ 21,381.00㎡	33,490.64㎡ 36,430.25㎡			
	小 計	52,080.33㎡ 33,307.80㎡ 19,851.97㎡	11,858.00㎡	63,005.43㎡ 66,124.60㎡	126,943.76㎡ 108,171.23㎡ 97,834.57㎡			
	そ の 他	4,246.88㎡ 3,245.86㎡	0 ㎡	6,436.15㎡ 3,311.00㎡	10,683.03㎡ 6,556.86㎡			
	合 計	56,327.21㎡ 37,554.68㎡ 23,097.83㎡	11,858.00㎡	69,441.58㎡ 69,435.60㎡	137,626.79㎡ 119,854.26㎡ 104,391.43㎡			
(2) 校 舎	専 用	27,563.10㎡ 20,333.15㎡ (27,563.10㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	27,563.10㎡ 20,333.15㎡ (27,563.10㎡)			
	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
(3) 教 室 等	22 室 13 室	42 室 34 室	16 室 40 室	3 室 1 室 (補助職員 人)	1 室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		各学部教員室3室 全学共有研究室96室		
	教育学部 教育学科 保健医療学部 看護学科 総合リハビリテーション学科			99 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能 なため、大学全体の 数。 新学部設置に伴って図 書・雑誌を追加した (2) 寄贈図書の参入による 増冊及び、新学部設置 申請にあたり、既存の 古書蔵書、教育上有効 性の低い蔵書の精査を おこなった。(元) 新学部設置計画、寄贈 図書の参入、教育の実 態精査により冊数変 更。(30) 寄贈図書の参入、教育 の実態を精査し、設置 時の計画を変更した。 (29) 寄贈図書の参入、教育 の実態を精査し、設置 時の計画を変更した。 (28) 教育の実態を精査し、 設置時の計画を変更し た。(27)
	教育学部 教育学科	30,402 [1,697] 25,227 [1,697] 25,276 [1,940] 21,267 [1,601] 16,461 [1,568] 17,860 [1,940]	93 [14] 111 [16] 148 [30] 81 [18] 76 [17] 120 [30]	31 [31] 6 [6] 19 [19] 7 [7] 10 [10] 17 [17]	522 638 606 430 405	17,936 18,486	85	
	保健医療学部 看護学科 総合リハビリ テーション学科	(30,402 [1,697]) (24,772 [1,696]) (20,947 [1,541]) (15,731 [1,398]) (17,130 [1,800])	(93 [14]) (84 [11]) (81 [18]) (76 [17]) (120 [30])	(31 [31]) (6 [6]) (7 [7]) (10 [10]) (17 [17])	(522) (606) (506) (301) (262)	(17,936) 18,486	(85)	
	計	30,402 [1,697] 25,227 [1,697] 25,276 [1,940] 21,267 [1,601] 16,461 [1,568] 17,860 [1,940]	93 [14] 111 [16] 148 [30] 81 [18] 76 [17] 120 [30]	31 [31] 6 [6] 19 [19] 7 [7] 10 [10] 17 [17]	522 638 606 430 405	17,936 18,486	85	
		(30,402 [1,697]) (24,772 [1,696]) (20,947 [1,541]) (15,731 [1,398]) (17,130 [1,800])	(93 [14]) (84 [11]) (81 [18]) (76 [17]) (120 [30])	(31 [31]) (6 [6]) (7 [7]) (10 [10]) (17 [17])	(522) (606) (506) (301) (262)	(17,936) 18,486	(85)	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	770.93㎡	115席		75,200冊				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	906.52㎡	特 にな し						

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	寄贈図書の実態を精査し、設置時の計画を変更した。 (29) 寄贈図書の実態を精査し、設置時の計画を変更した。 (28) 教育の実態を精査し、設置時の計画を変更した。(27)
		教員 1 人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	29,220千円 56,000千円	21,042千円 41,000千円	4,402千円 6,612千円 23,221千円 4,000千円	
		共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	54,731千円	5,255千円	500千円	
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		1,320千円 1,480千円	1,220千円 1,180千円	1,220千円 1,100千円	1,220千円 1,100千円	—千円	—千円	教育学部	
	1,730千円 1,980千円	1,750千円 1,680千円	1,750千円 1,600千円	1,750千円 1,600千円	—千円	—千円	保健医療学部		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	大和大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
教育学部	4	190	3年次5人	770	—	1.11	1.15		平成26	—	
教育学科	4	190	3年次5人	770	学士(教育学)	1.11	1.15		平成26	大阪府吹田市山手町2-5-1	
初等幼児教育専攻	4	100	3年次5人	410		1.09	1.23		平成26	同上	
国語教育専攻	}	4	90	0	360	1.14	1.07		平成26	同上	
数学教育専攻									平成26	同上	
英語教育専攻									平成26	同上	
保健医療学部	4	220	0	880	—	1.10	1.17		平成26	同上	
看護学科	4	100	0	400	学士(看護学)	1.14	1.20		平成26	同上	
総合リハビリテーション学科						1.07	1.15				
理学療法専攻	4	40	0	160	学士(保健医療学)	1.16	1.22		平成26	同上	
作業療法専攻	4	40	0	160	学士(保健医療学)	1.00	1.02		平成26	同上	
言語聴覚専攻	4	40	0	160	学士(保健医療学)	1.06	1.22		平成26	同上	
政治経済学部	4	120	0	480	—	1.12	1.09		平成28	同上	
政治行政学科	4	40	0	160	学士(政治行政学)	1.04	1.07		平成28	同上	
経済経営学科	4	80	0	320	学士(経済経営学)	1.17	1.10		平成28	同上	
理工学部	4	230	0	920	—	1.13	1.13		令和2	同上	
理工学科	4	230	0	920	学士(理学) 学士(工学)	1.13	1.13		令和2	同上	
大学全体	—	790	5	3,050	—	—	—	—	—	—	
大学の名称	白鳳短期大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
総合人間学科(2年制)	2	100	0	200	—	0.83	0.63		—	奈良県北城郡三寺町町下1-7-17	
国際人間学専攻	2	—	—	—	短期大学士(国際人間学)	1.30	—		平成10年度	同上	平成31年学生募集停止
こども教育専攻	2	100	0	200	短期大学士(こども保育学)	0.79	0.63		平成14年度	同上	
総合人間学科(3年制)	3	170	0	510	—	1.14	1.12		—	—	
看護学専攻	3	100	0	300	短期大学士(看護学)	1.13	1.14		平成17年度	同上	定員変更(10)
リハビリテーション学専攻 理学療法課程	3	40	0	120	短期大学士(リハビリテーション学)	1.13	1.12		平成19年度	同上	
リハビリテーション学専攻 作業療法課程	3	30	0	90	短期大学士(リハビリテーション学)	1.20	1.10		平成19年度	同上	定員変更(10)
大学全体	—	270	0	710	—	—	—	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 - ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成25年)	<p>・設置の趣旨・目的等が活かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、開設時から4年制大学にふさわしい教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>設置の趣旨・目的等に沿って、設置計画を履行している。また、教育研究活動の水準向上に向け、各専攻毎に主任を配置し、定期的に専攻会議をもつことで、教育研究の向上を図っている。(26)</p> <p>留意事項 毎年度、学期終了後に学部単位で全体教員会議をもち、各学期における教育研究活動の展開実践に対する検証を行い、改革改善点を次年度の教育研究体制に反映させ、理想的な体制を整備した。(27)</p>	履行済
	<p>・4年制大学の設置の必要性に関連し、近隣病院を対象に「看護師に求められるものに関するアンケート調査」を実施しているが、その結果とともに本学の必要性について説明していることから、調査結果を踏まえ、4年制大学としての本学の理念や養成する人材像にどのように反映し、今後どのように活かしていくのかについて具体的な計画を立てた上で、当該計画を着実に履行すること。(保健医療学部看護学科)</p>	<p>アンケート調査の結果得た教育現場に求める人材育成の指針を本学の教育実践に如何に反映させていくか、教育を展開させていく中で検証を進めることとし、毎週実施の専攻会議において教育展開の状況や課題、教育効果について確認、議論を實踐し、具体的な教育計画策定を進めていく。(26)</p> <p>留意事項 学科、専攻単位で実施する会議において、留意事項記載の内容をふまえた教育展開を議論し、実践するとともに、4年後の完成年度に向け、学年進行に従って各年度の教育実践の内容を検証し、改革改善点を蓄積し、長期的展望に立った教育実践計画の構築を図った。(27)</p>	履行済
	<p>・本学で養成する人材像や人材育成理念について、学術的な専門性の観点も踏まえたものとして捉えることが重要であることから、当該観点も踏まえたものに改めて整理し、学生に対し説明すること。(保健医療学部看護学科)</p>	<p>学生便覧に学科の特色として、「人間愛にあふれ向上心をもった看護に携わる人材育成」「専門的知識・技術、看護アセスメント能力をもった人材育成」「統合的視野、臨床実践力を備えた人材育成」の3本柱を掲げ、学生に対し、知識、技術、実践力の重要性をオリエンテーションにおいて説明した。(26)</p> <p>留意事項 毎年、学生に対する教育効果を検証し、学生便覧、オリエンテーション、担任面談、教育展開の改革改善を図った。(27)</p>	履行済

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
	<p>・本学が掲げる看護師、保健師及び助産師に関する養成する人材像について、例えば、「人間愛にあふれ向上心をもった看護に携わる人材」、「統合的視野、臨床実践力を備えた人材」、「問題解決能力の獲得」等を掲げており、これらについては「基礎セミナー」、「チーム医療概論」の授業科目に反映しているが、専門職業人養成の観点を踏まえると必ずしも十分とはいえない。掲げる理念及び目的が確実に達成されるよう教育課程を不断に検証し、専門科目においても教授するように改めるなど、教育課程の充実を図ること。 (保健医療学部看護学科)</p>	<p>養成する人材像に掲げる「人間愛にあふれ向上心をもった人材」「統合的視野、臨床実践力を備えた人材」「問題解決能力をもった人材」の各観点のうち、特に「人間愛にあふれ向上心をもった人材」は、その趣旨から1年次における教育における重要性が高く、共通基礎科目、専門基礎科目の教育内容、授業展開への反映の徹底を図るとともに、専攻会議において、実践状況の検証を行っている。(26) 教育課程において養成する人材像に掲げる教育が実践されているか、各学期単位で検証する体制を整備した。(27)</p>	<p>履行済</p>
	<p>・年間履修登録上限を45単位に設定し、保健師、助産師、養護教諭の資格取得を目的とする学生は、成績優秀者のみがこの上限を超えて履修することができるとしているが、成績優秀者についての具体的な基準や条件が明確でないことから、学内で規定を整備しあらかじめ学生に示した上で履修指導や計画を実施すること。(保健医療学部看護学科)</p>	<p>学生便覧における履修登録に関する記載部分に、履修登録上の注意を設け、1年間に履修できる単位数の上限を超えて履修登録する場合は、担当教員への事前相談を要する旨を記載した。(26) 学生便覧記載の履修登録上の注意に従って、前学期授業終了時に担任による学生面談を実施し、次学期の履修登録指導にあたる体制を整備した。(27)</p>	<p>履行済</p>
	<p>・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について、着実に実行すること。(保健医療学部看護学科)</p>	<p>毎年度、各学期開始前に人事会議を開催し、留意事項に記載の教員の年齢構成について、適切な構成の確立に努める。(26) 毎年度、各学期開始前に人事会議を実施し、適切な教員構成の確立に努めるとともに、教員の異動、年齢構成の変化をふまえ、毎年度、人事計画を再検討する体制を整えた。(27) 完成年度をもって退職する教員の補充にあたり、配置教員の年齢を考慮し、教員の年齢構成の適正化を図った。(30)</p>	<p>履行済</p>

区 分	附 帯 事 項 等	留 意 事 項	履 行 状 況	履 行 済	今 後 の 実 施 計 画
	<p>・教員の補充を必要とされた11授業科目については、科目開設時又は開設時までには教員を充足すること。うち、専任教員の配置を必要とされた11授業科目については。確実に専任教員を配置すること。 (保健医療学部看護学科)</p>	留意事項	<p>教員の補充を必要とされた授業科目について教員の充足を行うとともに、開学後、教員の異動が発生した場合には、授業実施学期前にAC教員審査を経てた確実な専任教員確保・配置を行う体制を整備した。 (26)</p>	履行済	
<p>設置計画履行状況調査時 (平成26年)</p>	<p>・保健医療学部看護学科の入学定員超過の改善に努めること。(保健医療学部看護学科)</p>	改善意見	<p>開学当初は戻り率が読めず、想定外の入学者数となり、1.86倍となったが、2年目の平成27年度は初年度の結果を踏まえ、戻り率算定の改善を図り、1.48倍となった。(27) 戻り率算定の改善、志願者動向の分析を徹底し、入学定員超過率の改善を図ったり、1.13倍となった。(28) 戻り率算定の改善、志願者動向の分析を徹底し、入学定員超過率の改善を図ったり、1.08倍となった。(30)</p>	履行済	
	<p>・保健医療学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。 (保健医療学部看護学科)</p>	改善意見	<p>任期制教員就業規則の定年年齢規定を70歳に改訂するとともに、学長が必要とする場合、定年を超過して雇用することができる旨を記載することで、多数の教員が同時退職する事態を回避することができる体制を整えた。(27) 完成年度をもって退職する教員の補充にあたり、配置教員の年齢を考慮し、教員の年齢構成の適正化を図った。(30)</p>	履行済	
	<p>・既設学部等(白鳳女子短期大学総合人間学科(2年制))の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生の確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	改善意見	<p>平成28年度より、総合人間学科こども教育専攻の入学定員を130名から100名に変更予定である。また、高校生、外国人留学生への広報展開を積極的に展開している。(27) 入学定員変更によって適正化を図るとともに、高校生、外国人留学生に対する広報展開を積極的に図り、定員充足率0.86倍となった。(28)</p>	履行済	

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
設置計画履行状況調査時 (平成27年)	<p>・シラバスの一部の科目において、各回の授業内容や課題、評価方法が不明な科目が見受けられるため、学生にとって分かりやすくなるように改善すること。(教育学部、保健医療学部)</p>	<p>改善意見</p> <p>全ての授業科目について、シラバスの授業内容、課題、評価方法の内容確認を徹底し、改善を図った。 (28)</p>	<p>履行済</p>
	<p>・保健医療学部看護学科及び総合リハビリテーション学科理学療法専攻の入学定員超過の状態が続いている。指定校推薦の導入や総合リハビリテーション学科については併願制の導入などにより改善のための一定の取組を行っていることは認められるが、改善のための更なる方策を検討し、入学定員超過の改善に努めること。(保健医療学部看護学科、総合リハビリテーション学科理学療法専攻)</p>	<p>改善意見</p> <p>草創期であることや、近隣大学の同系統学部学科新設で戻り率が読めず、入学者数超過が続いてきたが、3年目の平成28年度は、これまでの結果を踏まえ対応し、看護学科1.13倍、総合リハビリテーション学科理学療法専攻1.35倍と一定の改善を図った。(28)</p> <p>戻り率算定の精度を一層高め、総合リハビリテーション学科理学療法専攻1.20倍と一定の改善を図った。(29)</p> <p>戻り率算定の精度を一層高め、看護学科1.08倍、総合リハビリテーション学科理学療法専攻1.10倍と改善を図った。(30)</p>	<p>履行済</p>
	<p>・保健医療学部看護学科は認可時には計28名の専任教員を配置する予定であったが、調査時に専任教員は20名であることや、リハビリテーション学科理学療法専攻には教授の専任教員が配置されていないなど、当初の教員配置計画が適切に履行されていない。教育の質や教員の負担、教員の授業以外の研究活動に支障が出ることから、適切に教員を補充して、教育研究の指導体制を整備すること。(保健医療学部看護学科、総合リハビリテーション学科理学療法専攻)</p>	<p>改善意見</p> <p>看護学科の専任教員数、リハビリテーション学科の教授の専任教員数について、教員異動により、当初計画の教員配置数に変動が生じているが、教育、研究の質の確保、適切な実施が図られるよう教員配置を図る予定である。(28)</p> <p>前年度の計画に基づき、看護学科に専任教員を追加配任し、リハビリテーション学科理学療法専攻に教授の専任教員を配置した。(29)</p> <p>前年度末の退職者の補充に努めたが、現時点の専任教員数は前年度を下回る状況にある。継続的に教員公募、確保に努めている。 (30)</p>	<p>履行済</p>

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
	<p>・保健医療学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。（保健医療学部看護学科）</p>	改善意見	<p>定年年齢規定を超過する専任教員の比率低下に努めるとともに、安定的に教育の質の確保、向上が図られるよう、教員の年齢構成の適正化を図る。(28) 完成年度をもって退職する教員の補充にあたり、配置教員の年齢を考慮し、教員の年齢構成の適正化を図った。(30)</p>	履行済
	<p>・既設学部等（白鳳短期大学総合人間学科（3年制）看護学専攻、リハビリテーション学専攻）の入学定員超過の改善に努めること。</p>	改善意見	<p>近隣大学の同系統学部学科新設で戻り率が読めず、入学者数超過したが、平成28年度は平均超過率1.05倍に改善を図った。(28) 戻り率算定の精度を高め、平成29年度平均超過率1.00倍に改善を図った。(29) 戻り率算定の精度を高め、平成30年度は、看護学専攻1.18倍、理学療法学専攻1.17倍となったが、作業療法学専攻の戻り率が想定を上回った結果、3年制課程の今年度の超過率が1.26倍となった。(30)</p>	履行済
	<p>・既設学部等（白鳳短期大学総合人間学科（2年制）国際人間学専攻、こども教育専攻）の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	改善意見	<p>入学定員変更によって適正化を図るとともに、高校生、外国人留学生に対する広報展開を積極的に図り、定員充足率0.86倍となった。(28)</p>	履行済
設置計画履行状況調査時 (平成28年)	<p>・開学以降、辞任による教員の変更が多い状況が継続している。一定程度の後任補充はなされているが、臨地実習への対応なども考慮すると教育の継続性を担保する必要がある。教員組織の将来構想を策定するなど、計画的な教員組織編制となるよう努めること。（保健医療学部看護学科）</p>	改善意見	<p>教員組織の将来構想を策定し、計画的に教員組織体制を整えるよう、体制整備を図った。(29) 前年度末の退職者の補充に努めたが、現時点の専任教員数は前年度を下回る状況にある。継続的に教員公募、確保に努めている。(30)</p>	履行済
	<p>・保健医療学部看護学科の入学定員超過の改善に努めること。（保健医療学部看護学科）</p>	改善意見	<p>定員管理の体制整備を図るとともに、戻り率算定の精度を高め、入学定員超過の改善に努める。(29)</p>	履行済

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今 後 の 実 施 計 画
			戻り率算定の精度を高め、入学定員超過率1.08倍と改善を図った。(30)		
	・保健医療学部看護学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。(保健医療学部看護学科)	改善意見	任期制教員の定年年齢70歳を規定し、安定的に教育の質の確保、向上が図られるよう、教員の年齢構成の適正化を図る。(29) 完成年度をもって退職する教員の補充にあたり、配置教員の年齢を考慮し、教員の年齢構成の適正化を図った。(30)	履行済	
	・同一設置者が設置する既設学部等(白鳳短期大学総合人間学科(3年制)看護学専攻)の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見	戻り率算定の精度を高め、入学定員超過の改善を図る。(29) 戻り率算定の精度を高め、看護学専攻入学定員超過率1.18倍と一定の改善を図った。(30)	履行済	
	・同一設置者が設置する既設学部等(白鳳短期大学総合人間学科(2年制)こども教育専攻)の定員充足率が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	高校生、外国人留学生に対する広報展開を積極的に図り、定員充足率0.87倍となった。(29)	履行済	
設置計画履行状況調査時 (平成29年)	保健医療学部看護学科の入学定員超過の改善に努めること。(保健医療学部看護学科)	改善意見	戻り率算定の精度を高め、入学定員超過1.08倍と改善を図った。(30)	履行済	
	・同一設置者が設置する既設学部等(白鳳短期大学総合人間学科看護学専攻)の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見	戻り率算定の精度を高め、入学定員超過率1.18と改善を図った。(30)	履行済	
設置計画履行状況調査時 (平成30年)	・教員選考の客観性及び厳格性が不十分と考えられ、授業、学生指導など教育の質の低下が危惧される。教員選考の客観性及び厳格性を確保するために審査の基準やプロセスを是正するとともに、今後、新たに教員の採用	指摘事項 (是正)	教員選考に関する規程、審査基準を抜本的に見直し、教員選考審査に係る新たな組織を創設するとともに、学内外に教員任用、昇任の規程、選考結果を公表することにより、教員審査の客観性及び厳格性を高め、教育研究レベルの向上を図る。また、新たに教員を任	履行済	

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	及び昇格の選考を行う際には設置計画履行状況等調査における教員審査を受審すること。 (教育学部教育学科、保健医療学部看護学科、総合リハビリテーション学科)	用、昇任する際には、設置計画履行状況等調査における教員審査の受審を経て最終決定とする。(元)	履行済
設置計画履行状況調査時 (令和元年)	入学定員超過の改善に努めること。(保健医療学部看護学科)	<p>指摘事項 (改善)</p> <p>本学の入学者選抜試験の合格者戻り率は例年約50%だったが、令和元年度、競合地域において、複数の看護系大学、学部等が設置され、看護系大学全体の入学定員が約360名増加したことによって併願志願者が増加するものと見込み、令和元年度入試においては、戻り率を約30%と設定し合否判定を行ったが、最終的に戻り率は35.64%となり、定員を超過する結果となった。</p> <p>また、令和2年度は、センター試験最終年度の影響で国公立大学併願の受験者が増加することが予想され、事実、受験生が200名増加した。従って、かなり戻り率が下がると予測されたものの、入学定員超過の改善を図るべく、合格者数を前年度から約20名削減したが、最終的に戻り率は40%を超え、定員を超過する結果となった。(2)</p>	履行中 履行状況に記載したが、戻り率の精度を高めるだけで定員管理をすることは数年の経験で無理があると判断した。今後は、確実に定員管理を図るべく、戻り率算出の精度の向上のうえに、まず高めの戻り率を設定するとともに、新たに「補欠合格制度」を設け、3月に入り、国公立大学、競合私立大学の合格発表後に刻々と発生する入学辞退者に対し、3月31日まで、毎日毎日、きめ細かく補欠合格者を補充していくこととする。 この「精度の高い戻り率算定のうえ、高めの戻り率設定」「補欠合格制度」の二段構えの定員管理体制を、大学を挙げて全学部で展開し、入学定員超過の改善に全力で取り組む。(2)

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<保健医療学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>○ 校地面積</p> <p>(専用全学総計) 23,097.83㎡</p>	<p>① 理工学部設置に伴い、校地面積14,456.85㎡を拡張した。 (平成29年11月)</p> <p>(専用全学総計) 37,554.68㎡</p> <p>② 社会学部設置申請に伴い、校地面積18,772.53㎡を拡張した。 (令和2年3月)</p> <p>(専用全学総計) 56,327.21㎡</p>
<p>○ 校舎面積</p> <p>(全学総計) 20,333.15㎡</p>	<p>① 理工学部設置に伴い、新校舎7,229.75㎡を増設した。 (令和元年3月)</p> <p>(全学総計) 27,563.10㎡</p> <p>② 社会学部設置申請に伴い、新義棟8,135.10㎡を増設予定。 (令和3年2月竣工)</p> <p>(全学総計) 35,698.20㎡</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>大和大学FD委員会(平成26年4月1日設置)</p> <p>大和大学SD委員会(平成26年4月1日設置)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>第1回FD委員会:令和元年5月29日(出席者14名)</p> <p>第2回FD委員会:令和元年7月10日(出席者14名)</p> <p>第3回FD委員会:令和元年8月7日(出席者14名)</p> <p>第4回FD委員会:令和元年10月23日(出席者14名)</p> <p>第5回FD委員会:令和元年11月20日(出席者14名)</p> <p>第6回FD委員会:令和2年01月22日(出席者14名)</p> <p>第1回SD委員会:令和元年4月16日(出席者4名)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p>
--

FD委員会

- ①教育方法等の調査・検討に関すること。
- ②研修会等の実施に関すること。
- ③各部署が実施する活動への支援に関すること。
- ④その他全学的な連絡・調整に関すること。

SD委員会

職員の能力開発及び資質向上に関すること。

② 実施状況

a 実施内容

FD研修会

○教育の資質向上を目的とする研修会開催

SD研修会

○職員の能力開発及び資質向上を目的とする研修会開催

b 実施方法

FD研修会

専任教員全員に開催告知、参加希望者対象で実施。

SD研修会

職員全員に開催告知、参加希望者対象で実施。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

FD研修会（令和元年10月4日開催）

科研費不正使用防止について（参加者数63名）

FD研修会（令和元年11月28日開催）

学生コミュニティの活性化について（参加者数71名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

教授会、学部会議等において、研修内容をふまえた検証、議論を展開し、教育活動の改革改善を図っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

前期 授業評価アンケート実施（7月）

後期 授業評価アンケート実施（1月）

b 教員や学生への公開状況、方法等

本学ポータルサイトにおいて、教員・学生への公開を行っている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

「該当なし」

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

今年度の認証評価に向け、自己点検・評価体制の強化を図り、設置の趣旨・目的の達成状況の詳細な検証を展開している。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・自己点検・評価委員会において、毎年度末、当該年度の点検・評価内容の取りまとめを行う。
- ・7年毎に自己点検・評価報告書を作成し、これを公表する。（令和3年6月公表予定）

b 公表方法

- ・本学ホームページにおいて公表

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和2年予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [()]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイトにて公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

添付資料

大和大学 FD (Faculty Development) 委員会規程

(設置)

第 1 条 大和大学学則第11条および大和大学教授会規程に基づき、大和大学の専門委員会として、大和大学 FD 委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(目的)

第 2 条 委員会は、本学及び本学の教員が、教育の質的向上を図るために組織的に取り組む活動を推進する事項について審議することを目的とする。

(審議事項)

第 3 条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- (1) 教育方法等の調査・検討に関する事。
- (2) 研修会等の実施に関する事。
- (3) 各部局が実施する活動への支援に関する事。
- (4) その他全学的な連絡・調整に関する事。

(組織)

第 4 条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学部長
- (2) 教務情報室長
- (3) 各学部の教員から選出された者 各 2 人以上
- (4) その他、学長が必要と認めた者

(任期)

第 5 条 前条の委員の任期は 1 年とし、再任を妨げない。

2 前項の委員に欠員が生じた場合の補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第 6 条 委員会に委員長を置き、第 4 条第 2 号の委員をもって充てる。

2 委員長は、委員会の会議を招集し、その議長となる。

3 委員長に何らかの理由で職務を遂行できない場合は、学長により指名された委員がその職務を代行する。

(会議)

第7条 会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。

2 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委員以外の者の出席)

第8条 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くことができる。

(ワーキンググループ等)

第9条 委員会に、専門的事項を審議するため、ワーキンググループ等必要な下部組織を置くことができる。

(事務)

第10条 委員会の事務は、教務情報室において処理する。

(雑則)

第11条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

1 この規程は、2014年4月1日から施行する。

2 この規程は、2016年4月1日から一部改正施行する。

3 この規程は、2019年4月1日から一部改正施行する。

4 この規程は、2020年4月1日から一部改正施行する。

大和大学事務局職員研修規程

(趣旨)

第1条 この規程は、大和大学事務局職員（事務局長及び専門職員を除く。以下「職員」という。）の能力開発及び資質の向上を目的として実施する職員の研修に関する事項を定める。

(方針)

第2条 研修は、この規程に定める内容にしたがって、計画的、効果的かつ継続的に実施する。各部署長は研修責任者として所属職員を対象に研修を実施し、研修結果を学長に報告しなければならない。

2 研修には必要に応じて嘱託職員及び契約職員を加えることができる。

(体系)

第3条 職員研修の体系は、次に掲げる通りとする。

(1) 職掌・職能別研修

(2) 職位別研修

(ア) 管理職研修

(イ) 一般職研修

(3) 目的別研修

(ア) 全体研修

(イ) 実務研修

(ウ) 新任職員研修

(4) 自己啓発研修

(職員の心構え)

第4条 職員は、自己の職務遂行能力の向上のために、積極的に研修に参加するものとし、併せて研修により得た知識、技能等を日常業務で活用するよう努めなければならない。

(所管部署)

第5条 この規程に関する事務は、事務部の所管とする。

(実施要領の制定)

第6条 この規程の実施に必要な事項は、別に定める実施要領による。

(規程の改廃)

第6条 この規程の改廃は、事務局会議が行う。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、令和2年4月1日から施行する。